

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
発行人 田村 義和
〒378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
E-mail : tonekyou@pref.gunma.lg.jp

学校教育係 平成30年度の教育課程の編成に向けて

新学習指導要領の全面実施（小学校は平成32年度、中学校は平成33年度）に向けて、来年度から移行期間となります。そこで、教育課程の編成に向けて特に留意したい点や、平成30年度に係る移行措置についてまとめました。各項目について確認し、全教職員の協力の下に全体計画や年間指導計画等の準備をお願いします。

1 総則、総合的な学習の時間、特別活動は新学習指導要領によることとされています。（プログラミングは除く。）

総則

留意点1 目指す資質・能力をバランスよく育成できるよう計画しましょう。

育成を目指す資質・能力の三つの柱

- 学びに向かう力・人間性等
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
- 生きる力
- 理解していること・できることをどう使うか
思考力・判断力・表現力等
- 何を理解しているか 何ができるか
知識・技能

留意点2 以下の点などを踏まえて指導内容を選択・組織しましょう。

- 学習の基盤となる力（「言語能力」「問題発見・解決能力」等）を育成すること。
- 現代的な諸課題に対応して求められる力（「健康・安全・食に関する力」等）を育成すること。
- 重点を置く指導内容を明確にすること、各教科等及び各学年相互間の関連を図ること。

留意点3 主体的・対話的で深い学びを実現できるように計画しましょう。

- 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、まとめ方や重点の置き方を検討すること。

総合的な学習の時間 ・育成を目指す資質・能力の三つの柱を基に各学年・単元の目標を見直すこと。

特別活動 ・小学校の学級活動に（3）が新設されていること。
・キャリア教育の要として、社会参画意識の醸成を図れるように内容を見直すこと。

各主任を中心に計画的に準備しましょう。

2 各教科等は内容の一部を追加、省略などすることとされています。（外国語は最低限必要となる内容です。）

<小学校>	国語	4年生 都道府県に関する漢字25字を追加、23字を他学年に移行して指導する。 ※漢字配当表は「小学校学習指導要領」P.28を参照
	社会	5年生 「領土の範囲」について、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることに触れる。
	算数	3, 4年生 B量と測定「（1）長さ、重さの単位と測定」 接頭語（キロ（k）やミリ（m））についても触れる。 4年生 B量と測定「（1）面積の単位と測定」 面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察する。
	理科	4年生 「光電池を使ってモーターを回すこと」を省略。
	外国語活動	3, 4年生 [知識・技能] 英語の音やリズムなどに慣れ親しむ。日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付く。（挨拶、好きなものを尋ねる など） ※言語活動（聞くこと、話すこと）については、「小学校学習指導要領」P.156を参照 5, 6年生 [知識・技能] 音声、活字体の大文字と小文字、文及び文構造の一部（I, you, he, sheなどの代名詞、使用頻度の高い動名詞・過去形 など） ※言語活動（読むこと、書くこと）については、「小学校学習指導要領」P.140を参照
新教材が配布される予定です。Hi, Friends!とあわせて活用しましょう。		
<中学校>	社会	「領土の範囲や変化とその特色」（地理的分野）、「富国強兵・殖産興業政策」（歴史的分野）、「世界平和と人類の福祉の増大」（公民的分野）において、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることに触れる。

新学習指導要領の趣旨理解を深めるために、総則を職員研修で読み合うことも効果的です。また、「特別の教科 道徳」は、小学校では完全実施、中学校では引き続き移行期間です。平成31年度に係る移行措置については、次年度の後期の号でお知らせします。



生涯学習係 『地域の方による学校支援』の拡充に向けて

各校では、これまでの「地域の方による学校支援」について、内容や方法の改善が進められています。

そこで、下図の学校支援の分類例（4つの型）を確認の上、学年や教科、校務分掌等の担当の立場で、「学校支援センター年間計画」や「各教科等の指導計画」、「学校施設や安全環境の実態」等を振り返り、「あるといいな」と感じる地域の方による学習支援や環境支援を明らかにして、組織的にボランティアの拡充を図りましょう。

学校支援の分類例と「振り返りの視点」・「ボランティア拡充の方法」

学習支援に関する 振り返りの視点

- 「専門家のアドバイスで、詳しく分かる」、「生きることや働くことについて考える」など、子どもの学習を深めるため、ゲストティーチャーとして、地域の方をお願いしたいことは何か。
- 「一人一人の学習課題を解決できる」、「賞賛や励ましにより意欲を高める」など、子どもの主体的な学習を支援するため、学習アシスタントとして、地域の方をお願いしたいことは何か。

学 習 支 援

ゲストティーチャー型

- ・教科指導
国語（俳句）書写、道徳（講話）
外国語活動、総合（地域学習）
- ・伝統芸能演示
- ・キャリア教育講話 等



学習アシスタント型

- ・少人数指導、TT指導の補助
- ・ミシン補助
- ・体育実技等の見守り
- ・ドリルの丸付け
- ・理科実験補助 等



専門的サポート

一般的サポート（誰にでもできる）

- ・施設の補修
- ・植木の剪定
- ・パソコン等のメンテナンス 等



施設メンテナー型

- ・校舎内外パトロール
- ・登下校の見守り
- ・校外学習の引率
- ・図書整理
- ・花植え 等



環境サポーター型

環 境 支 援

ボランティア 拡充の方法

地域の方と連携して、日頃から意識して、専門的な知識や技術をもつ方を探しましょう。

連携先

地域コーディネーター、PTA、公民館、地域団体、企業、有資格者、他校の講師情報等

ボランティア 拡充の方法

「いつ、何のために、どのようなボランティアが必要か」を広報して、計画的に募集しましょう。

広報例

PTA総会、学年・学級懇談会、募集チラシ・学校便り・回覧板等

※「学校支援の分類例」は、H18 地域と学校のパートナーシップ推進フォーラム資料（講師 日本大学教授 佐藤 晴雄）による。

環境支援に関する 振り返りの視点

- 施設の管理や修繕、備品の修理等の施設メンテナーとして、地域の方をお願いできることは何か。
- 子どもの安全で快適な環境を支える環境サポーターとして、地域の方をお願いしたいことは何か。

振り返りのための参考資料

「目指せ！学校支援センターの機能の充実」（作成：利根教育事務所）
「学校支援センターに関するチェックシート」から捉えた自校の課題を解決するためのガイドブック

★資料については、利根教育事務所HPを御覧ください。

☆ H29 地域と学校のパートナーシップ推進フォーラム資料（主管：利根教育事務所）

★資料については、利根教育事務所まで、お問い合わせください。

「連携有効打 25連発！」（参考文献：共栄大学教授 金山 康博 「学校力UP！明日からできる地域連携30のアイデア」日本標準）